

審議等の概要

《議題》

2 ふじさわ下水道中期経営計画【年次計画】の実施状況（令和7年度中間実績）
（資料2に沿って説明）

【質疑】

<基本方針1>

(1) 3年目なので進捗率は60%に達していれば標準的に進捗しているものと考えますが、(3) 管路改築が31%、(5) 浄化センターポンプ場機器等調査は44%、(6) 浄化センターポンプ場設備改築は33%です。(2) 管路調査が埼玉の事故によって国からの指導で進んだと説明を受けましたが、調べたにもかかわらずその改築が進んでいないのはどのような理由でしょうか。また、ポンプのユニットの機器の納期が遅れていて、令和9年度で進捗率は100%になるのでしょうか。

《回答》

(3) 管路改築に関して、令和4年度以前の調査が予定の半分しか行われていなかったことで改築が遅れています。調査後、修繕や改築を行うには詳細な設計、工事を発注するための準備期間を要しますが、令和5年度以前の調査が予定の半分程度しかできなかったことで、令和5年度から7年度の改築の数量が少なくなっています。今後は予定どおりの調査をした結果、令和8年度、9年度は資料に記載している数値以上に改築を行う予定です。

(6) 浄化センターポンプ場設備改築に関して、令和7年度は18ユニットが先送りになり、7ユニットとなりましたが、今後の見立てでは概ね計画どおりに進められると見込んでおり、100%を達成できるものと見込んでいます。

(5) 浄化センターポンプ場機器等調査に関して、現在契約事務手続きを実施しており、今年度中に35点追加します。機器等調査については、補足説明欄のとおり令和元年度から10年間で800点実施する計画になっていますので全体の75%を調査しています。今後も調査を続けて100%に近づくように進めてまいります。

(2) 説明の中で業者が少ないことを理由に説明されていましたが、今後も工事を請け負ってもらえないのでしょうか。

《回答》

令和5年度については専門的な管更生の技術を持った業者がいまいませんでしたが、この数年で工事の需要が大幅に増えているため、工事のための機器を購入してくださる会社も増えたことから現状では問題ないと判断しています。

(3) 事業2の(7) スtockマネジメント計画の更新ですが、Stockマネジメント計画についての説明がなく、今年度は第2期SM計画の進捗管理と記載されています。その進捗管理の結果を教えてくださいと思います。また、(1) から(6) までを包含しているのかどうかも教えてくださいと思います。

《回答》

Stockマネジメント計画については令和2年に計画を策定しました。機器が壊れてから対応する事後対応から、状態を見ながら悪くなる前に修繕等を行う状態監視保全に向けた維持管理を目指し、中期経営計画の最大の重点項目としております。令和5年度から進捗管理を進めていく中で良かった点、悪かった点を踏まえ、積み上げているデータを基に、下水道機能の健全な維持のために何を重点配分するかということを含めて計画を改定していこうと見定めております。

それにより、計画目標や年次計画を変更したいと考えておりますので、計画を進める段階で皆様に御提示をさせていただければと思います。

基本的にはStockマネジメント計画に基づいて中期経営計画の中で作業を割り振っていますので、Stockマネジメント計画の内容がこの(1) から(6) の作業項目に全て包含されています。

<基本方針2>

(4) 例えば施策6、事業8、(2) にマンホールの浮上診断の進捗状況が100%を大きく上回っていますが、令和9年度を待たずに令和8年度の時点で短期目標を達成する可能性もあろうかと思えます。5年間での進捗率を右側に表示している以上、目標が達成されているものや達成見込みが高いものに関しては、令和9年度の短期目標の数値自体を変える必要があるか、又は、青字の見込み額を見てくださいということになるのか、その辺についてはいかがでしょうか。

《回答》

1段目の黒い数字は計画策定時の目標を記載しています。今後、予算を踏まえ2段目に実施見込みを入れたものをご説明をさせていただきます。短期目標は5年ですが、後期5年もありますので、全体で捉えています。

審議等の概要

(5) 事業8 (3) 浄化センターポンプ場の耐震化・耐津波化について、3カ年で36%と進捗にすれば思わしくないと取れます。工事の実施には予算や業者の手配などの状況もありますが、診断だけは実施できると思います。診断の進捗状況については100%に近いと理解してよろしいのでしょうか。

《回答》

工事に関しましては、他の建物と合わせて発注するほうが合理的等の判断もありますので時期がずれ込むこともありますが、耐震診断に関しては概ね予定どおり進められています。

<基本方針3>

(6) 施策10事業13について、補足説明に進捗報告実施と書いてありますが、調査・研究や検討について成果と課題についてコメントいただければありがたいです。定性的内容については、何か記載していただかないとその成果や進捗状況の確認ができませんと思います。

《回答》

施策10 (1) 新エネルギーの活用に向けた取組については、浄化センターとポンプ場の特別高圧電力と高圧電力につきまして、グリーン電力の導入の契約手続を進めている最中です。

(2) の省エネルギーについては、ポンプの回転数制御を用いて電力の縮減を図る方針が出ておりますが、設備の更新が必要となるため時間がかかることが課題となっております。

(7) グリーン電力について他行政、鎌倉市等は既に導入しているという話を伺っています。藤沢市は遅れているわけですが、それを乗り越えるためのアイデアや意見などの議論はどのように進められたかを伺いたいです。

《回答》

電力の購入先について、小規模の会社が倒産したなどの問題が課題になっております。同様のことが懸念されますので安定的な下水道の運営を目指してどのようなところから購入したらいいのかを議論しているところです。

(8) 先進事例の課題の調査も含め、グリーン電力の購入に限らず新エネルギーの活用に向けた取り組みを様々検討していかないと3年間かけた調査・研究の成果と評価できない気がします。藤沢市としてトップに立つような仕組みに議論を到達させていただきたいと思います。

《回答》

様々な議論を経て、最善の策を講じていくことが必要だと考えています。ご指摘のとおり長く研究しており、この表現だけだと進んでいるか分かり得ないところもありますので、一定の成果が出た段階でまたご報告いたします。

【意見】

(9) 定性的な事業については単に審議会で報告というのではなく、具体的な中身を説明として記載するようにしてください。

(10) 施策12事業16 (3) 下水道の未普及地域の管路整備で、普及率が令和2年で95.9%とのことですがどのようなところが未整備でしょうか。また、中期経営計画でも単に管路整備だけでなく、浄化槽を使用した整備手法についても検討する旨が書かれていますが、具体的な取組状況はいかがでしょうか。

《回答》

下水道が未整備の地域がある藤沢西北部の用田地区と宮原地区で未普及対策工事を行っております。また、浄化槽について、人口が多い時には集合処理としての下水道整備は非常に有効なものですが、今後人口減少を迎える中においてはコストがかかるものと全国的に危惧されています。現在は投資効果の高いところがまだ少し残っておりますが、そこを整備した後どうするかということは検討し、どこかの段階でご報告したいと考えています。

(11) 浄化槽を活用した整備手法を実施する場合、下水道事業からその地域を外すことになるのでしょうか。

《回答》

市街化区域は全域下水道処理区域として定めており、その中で随時事業計画区域として拡大しながら整備しています。このため、既整備個所を落とすというより残っている地区の整備を行わない方向になると現状では考えています。

<p>審議等の概要</p>	<p>(12) 浄化槽の整備は下水道事業でできるのでしょうか。 《回答》 市町村設置型の浄化槽か、処理区域から外して個人負担での整備なのか体系の整理が必要です。また事業計画区域として定めた個所を下水道処理しない場合、下水道法の定めをどう捉えるか等の法的課題もありますので、整理した上で進めたいと考えています。</p> <p>(13) 回答いただいた未普及地域はどのようなところなのでしょうか。地形的な課題などにより整備できなかったのか、順を追って整備できる地域なのでしょうか。 《回答》 宮原地区、用田地区は市の西北部で、相模川流域の処理区です。それぞれ下流側から徐々に整備してきて今一番地形的に高いところを整備しており、あと数年で整備が終わるような状況です。</p> <p>【意見】</p> <p>(14) 新聞で人口密度が低く投資効果が低いところでは計画の見直しが進められていることが紹介されていました。合併処理浄化槽の処理水の水質は下水処理場の基準以下に抑えられているので、そのようなことも踏まえて今後どう対応していくか十分に検討していただきたい。</p> <p>(15) 施策9、事業12の(1)雨天時浸入水対策方針策定で令和8年度と9年度の短期目標はバー表示になっていますが、これは令和7年度が最終年度で次回かその後の審議会で報告書が提出されると認識してよいのでしょうか。それとも来年度も引き続き検討、策定が続く可能性もあると認識すべきなのか教えてください。 《回答》 これまでの検討を含めてどのような方向性で行うのか明確でないため、現在、その方向性を決定するための調整を図っているところです。一定の方向性が定まったらどこかのタイミングでお示しして事業展開が行えるようにしたいと考えています。</p>
<p>その他</p>	<p>(1) ふじさわ下水道フェア2025の開催結果について (2) 路面下空洞調査について</p>